

いこい 一年間の取り組み

～ ケア統一 ～

デイサービスセンターいこい

行き詰まっていたケア統一

- 担当職員一人で行っていた。
- 統一内容が多すぎてまとまらず、更新が追い付かない。
- 利用者個々の統一内容をまとめたが、マニュアル化まで追い付かない。
- 全職員に周知できていない。
- 一年前と同じことを繰り返している。

スライド 2

大上1 大上 悠, 2016/03/14

ケア統一の基本的考え方



・3つのレベル全てが達成できて初めて成果を得ることができる。

・全職員が標準レベル以上でなければ満足度は得られない。(最低ラインが事業所の評価となる。)

入浴介助基礎マニュアル(デイサービスセンターいこい)

作成日:27年12月10日

業務の目的: 多くの利用者様がお風呂を楽しみにされているので、入浴がその人にとって満足間が得られるように、コミュニケーションの機会として捉え、その時間を共に楽しむ。また、リハビリの繋がるように手足や身体を動かしたりする。

留意点:

- ・怪我や事故が最も起きる可能性が高いので、きめ細かい注意が必要である。たとえば、普段はしっかりと歩けている方でも滑ってしまうことがある。また、蛇口を触ってしまい熱いお湯が出てしまう等、思いがけないことが起きるので、「その人は大丈夫だ」という安心感を持たないようにする。
- ・単なる作業にならないようにする。利用者様との大切なコミュニケーションの場であり、ニーズを把握する機会でもあり、更に、人間同士の心が触れ合う時間として余裕を持って、気持ちいい会話、笑顔、明るい声で接する。
- ・同姓介助に十分気をつける。少しでも異性介助に違和感があるようであればすぐに代わってもらう。その人の気持ちを無視してはいけない。

■入浴介助時の作業手順

	作業のステップ	作業のポイント
1	入浴準備: ・脱衣所のカーテンは閉まっているか。 ・お風呂全体(脱衣所・浴室・お湯)の温度は適切であるか。 ・必要な物品(シャンプー・石鹸・髭剃り・椅子・タオル・洗面器等)は揃っているか。	・入浴者の把握を行い、その方に適した物品の準備を行う。
2	水分補給:	・入浴前に水分を摂る事で、脳梗塞などの予防に繋がる。
3	誘導: ・誘導前に利用者の健康状態を確認する。 ・排便がないか確認する。排便がある場合はトイレで綺麗にしてからお連れする。 ・利用者様が持参された衣類を用意する。 ・利用者様のベースに合わせてお連れする。	・バイタルは看護師に確認を行う。 ・衣類は利用者様に了解を得てからロッカーから取り出す。
4	脱衣: ・カーテンやドアはきちんと閉める。 ・浴室内の温度を確認して、衣類を脱いでいただく。 ・肌が露出しないように常時気をつける。(羞恥心を大切に) ・皮膚の状態をよく見る。 ・脱いだ衣類のポケット等を確認する。 ・衣類の仕分けを行う。	・自分で出来る方は時間がかかっても自分でやっていただくようにする。 ・気がつかない傷はないか、紫斑はないか、変わったことはないか等、十分に観察を行う。 ・ポケット等に何か入っている場合は利用者様に確認を行う。 ・利用者様によって、持参衣類が違うので、十分に注意する。
5	洗髪・洗身: ・介助の内容の声掛けをしながら介助する。・陰部はタオルで覆い、羞恥心に配慮する。 ・お湯の温度を確認しながら末梢から心臓に向かってゆくりと身体を流していく。 ・身体をマッサージしながら洗う。 ・身体が冷えないようにかけ湯をする。	・分かり易い言葉で声掛けを行う。 ・急に身体にお湯をかけないようにする。 ・麻痺がある場合は健側からかける。 ・高齢の方は皮膚の油分が少ないので、ゴシゴシと洗わないようにする。 ・リラックスさせ、気持ちの良いときを過ごすために入ってもらって気持ちよく介助する。

デイサービスいこい 入浴介助マニュアル

人数の把握と事前の段取りを行っておく。

- ・来園の順番を考慮し、お誘いする順番をフロア職員と話し合っておく。
- ・特養の随時浴を確認し、女性、男性が切り替わる時間を想定しておく。
- ・軟膏、シャンプー等、個別で使用する準備物を確認し用意しておく。

個別ポイントを把握しておく。

- ・浴槽形態、軟膏や貼り薬、全身確認のポイントを把握しておく。
- ・個別の対応方法(洗髪や着脱衣方法等)を把握しておく。
- ・複数の職員で入浴介助に当たる場合は情報を共有する。

当日の情報を把握する。

- ・バイタル、再検、中止者、体調の確認を必ず行う。
- ・連絡ノートの確認。時間的に無理な場合フロア職員から情報を得る。
- ・随時情報を得る為、デイ携帯を常に持っておく。

余裕を持って介助に望む。

- ・介助できる人数を想定し慌てず、焦らず対応する。
- ・作業的にならない。(<"入浴介助"ではなく"お風呂"は寛ぐ空間です。)
- ・段取りが崩れてしまう場合、時間延長や午後からの対応を考慮する。

その他

- ・衣類やタオルの最終確認を行う。(忘れ物や間違いが無い様に。)
- ・次に入られる方が気持ち良く使用出来る様に清掃等を行う。
- ・入浴時の様子や気付いた情報をフロア職員へ伝える。

デイサービスいこい 認知症ケアチェックリスト

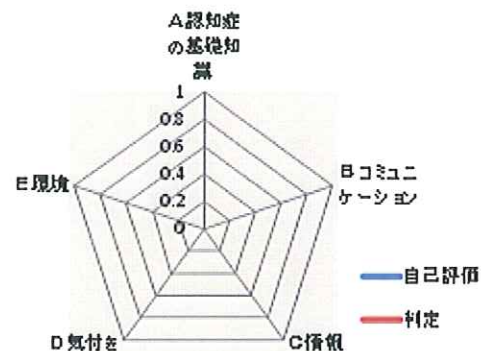
自己評価日:平成 年 月 日() 氏名:

判定日:平成 年 月 日()

4:あてはまる 3:どちらかというにあてはまる 2:どちらかというにあてはまらない 1:あてはまらない

A 認知症の基礎知識	自己評価	判定
1 専門用語の意味を理解している。		
2 中核症状を理解している。		
3 BPSDを理解している。		
4 認知症の種類を理解している。		
5 物忘れとの違いを理解している。		
B コミュニケーション		
6 笑顔で接している。		
7 傾聴している。		
8 適切な言葉使いができています。		
9 落ち着いた雰囲気です。		
10 コマニチュードを実践している。		
C 情報		
11 利用者個々の情報(過去の情報)を把握している。		
12 当日の情報(排泄情報等)を把握している。		
13 身体的・心理的情報を把握している。		
14 相手が情報を得やすいように配慮している。		
15 情報をチームで共有している。		
D 気付き		
16 表情や言動からのサインをキャッチできる。		
17 情報からニーズを推測できる。		
18 対応方法の良し悪しを客観的に判断できる。		
19 相手の心境に配慮した対応ができる。		
20 気付きをチームで共有している。		
E 環境		
21 認識しやすい環境や対応方法を整えている。		
22 動きやすい動線を意識している。		
23 不適切と思われる環境を改善している。		
24 落ち着く環境を整えている。		
25 環境整備について意見交換している。		

いこい認知症ケアチェックリスト



チェックシートの実施

- ・現状の分析ができた。
- ・苦手な項目が分かった。
- ・自分の振り返りができた。
- ・日々のケアの自信につながった。
- ・今後の研修内容が確立。

質の向上

意欲向上

実習生対応

情報収集

送迎方法
統一

全職員参加

情報更新

全国大会出場！！

